

地引き網のたとえ

2020年7月12日

マタイ 13・47～50

序：終末に主がさばきをなさる

今は真偽混じっていても、峻別される

麦と毒麦 マタイ 13・24～30、36～43

羊と山羊 マタイ 25・31～46

備え：賢い娘と愚かな娘 マタイ 25・1～13

タラントを預かったしもべたち マタイ 25・14～30

I. 地引き網のたとえ

例話：能登半島の漁師の民宿

(1)海はこの世界

(2)魚は人間 cf.人間をとる漁師

種々雑多

良いものも悪いものも入る

(3)網は魚を集めて捕る道具・手段 = あらゆる人を神の国に招く方法

宣教・伝道・奉仕・活動

(4)いつ引き揚げるとのか？ = 網がいっぱいになる時

救いに選ばれた最後の異邦人の救い＝時が満ちて

(5)人々は魚を判別し、保存したり、廃棄したりする

= 御使いたちが正しい者の中から悪い者を選び分ける

そして、悪い者を火の爐に投げ込む

⇒ 泣いて歯ざしりする

II. 終末のさばき（報い）

(1)主の空中再臨時

新約時代（ペンテコステ～空中擧）の信者

教会の救い

=教会（ユダヤ人キリスト信者＋異邦人キリスト信者）

栄光の体

ヨハネ 14・1～3

I コリント 15・51～53

テサロニケ I 4・13～18

キリストが天から下って来られる

パラダイスにいる先に召された信者が栄光の体に復活

生き残っている信者が栄光の体に変えられる

主とお会いし、その後二者は主とともにいる ⇒ 地上の千年王国まで

御父の備えた天の住まい

→ 千年王国

→ 永遠の天の御国

主は教会（新約の）信者を大患難期前に救い出して、患難に会わないように守る
テサロニケ I 1・10 やがて来る御怒りから救い出してくださる
5・9 御怒りを受けるのではなく、救いを得るように
ヘブル 9・28 一度は罪を負うため、2度目は主を待ち望む人々の救いの
ために来られる
黙示 3・10 全世界に来ようとしている試練の時にあなたがたを守る

主は大患難期の中で、キリスト信者を守るのではなく、始めから大患難期そのものに会わないようにしてくださる

空中再臨は大患難期から信者を救うのが目的
不信者へのさばきは地上再臨の時

- (2) 大患難期 不信仰者をさばく主の怒りの時
主の地上再臨時 全時代（旧約時代、教会の時代、大患難期）の不信者
さばき

〔 救い 旧約時代の信者 は千年王国に入る前に体の復活
大患難期の信者 黙示 20・4～6 王として治める 〕
黙示 19・11～21 〔 キリスト 〕VS〔 反キリスト・偽預言者 〕
さばき 〔 天の軍勢 〕〔 地の王たちと軍勢 〕

獣（反キリスト）と偽預言者は火の池へ
残りの者は皆殺され、鳥の餌食になる

- (3) 最後の審判
さばき 復活（体をもって永遠に苦しむ）－永遠の滅び＝第二の死
黙示 20・1～3 悪魔（サタン）は千年の間、底知れぬ所に閉じ込め封印される
7～10 解き放たれた悪魔は千年王国に戦いを挑むが、天からの
火により軍勢は焼かれる
悪魔は手下の獣と偽預言者と同じ火と硫黄の池へ

Ⅲ. 適用

- (1) 空中再臨時に携挙されないことはさばきの一つ
- (2) 大患難期には多くのユダヤ人が救われる（144000 人）
残った異邦人の中から救われる（以前に福音を聞いた、聖書を読んだ、証し）
私たちは今、結果が出なくても、伝えておくべき
- (3) 神のさばきに対する正しい聖書に基づく理解、ふさわしい恐れ・畏れ
- (4) 救いにあずかった幸いと感謝、滅びようとしているたましいを覚えてとりなして
祈る より真剣で熱情ある福音の証し